

# くらしの安心につながる 「防災行政無線」

多久市では6月1日から台風や集中豪雨などの自然災害や火災、避難などの緊急災害情報を市内のみなさんに伝える『防災行政無線』の運用を始めました。この仕組みやみなさんへの伝達方法などを紹介します。市民のみなさんの安全・安心のために、充実させたネットワークのサービスを各家庭や地域で役立ててください。

集中豪雨や台風などで河川が氾濫したり、土砂災害が起こったり、予期せぬ自然災害や火災は一瞬にして、私たちの大切な財産や尊い命を奪うこともあります。だからこそ、安全・安心な地域社会の整備が必要です。多久市では危険地区の砂防工事や危険箇所対策工事を進める一方で、地域防災力の強化や防災設備の整備、避難支援体制の充実なども行っています。

その一つが市民のくらしの安心につながる情報システム『多久市防災行政無線システム』です。2年をかけて整備し雨期を迎えた6月1日に開局式を行い、運用を始めました。

## 6月1日運用スタート 多久市防災行政無線

防災行政無線からあなたの携帯電話などにメールが届きます

### メール登録をしましょう！

防災行政無線で緊急一斉放送した内容を6月1日から携帯電話やパソコンに配信しています。市外で仕事をされている方は勿論、市内から離れた時や放送を聞き逃した時にも便利なサービスです。事前に登録してご利用ください。

#### メール登録方法

携帯電話などからアドレスを直接入力するか、QRコードを読み取ってアクセスしてください。



アドレス <http://www.taku-bousai.jp>

屋外拡声子局97基から  
防災情報を一斉放送  
「聞こえづらい」を

### 解消しました

各種災害情報や案内を処理する防災行政無線放送室を市役所総務課内に設置し、この無線放送室から市内97地点に新たに設置した屋外拡声子局（一斉放送施設）に防災情報を送信し、拡声スピーカーから放送します。

また、難聴地区（屋外拡声子局から離れた地区）の住宅や、区長や防災関係者の自宅、避難所、公共施設、学校、保育園、幼稚園、福祉施設等へ戸別受信機を計266台設置し、防災情報など行政放送を聞くことができるようになりました。重度の聴覚障害者の方は文字データで確認することもできます。

このように緊急時には市役所総務課が情報連絡室となり最新機器のネットワークシステムを活用し市内全域に、情報を迅速かつ確実に伝達することができるようになりました。有線による屋外拡声器9箇所に対応していたこれまでの聞こえづらいという問題を解消。屋内でも放送内容を確認することができるようになりました。



6月1日、市役所に区長会をはじめ警察や消防署、消防団などの防災関係者約40人が集まり、多久市防災行政無線開局式を行いました。横尾市長は「防災や減災に対し、関係者が情報を共有して、的確な判断で、迅速に動くことが極めて重要です。整備したシステムも全て人が動かすことなので、みなさんの連携と尽力をお願いします」と今後の協力も求めました。

この事業経過説明とテープカットの後、市長が開局スイッチを押すと、屋外拡声子局から開局を知らせる放送が流れました。

▲テープカットを行う（左から）大坪広幸佐賀県消防防災課長、横尾市長、牛島和廣市議会議長、森久光区長会長